

**指定期間中間モニタリング
(平成 27 年度)**

施設名称	臼井老幼の館 臼井老幼の館学童保育所外 3 学童保育所
施設概要	児童センター (1) 名 称 佐倉市立臼井老幼の館 (2) 所在地 〒285-0038 佐倉市王子台 6 丁目 25 番 1 号 (3) 施設構造 鉄骨造、地上 1 階建 (4) 敷地面積 2,563 m ² (5) 延床面積 322 m ² (6) 建築年月 昭和 60 年 3 月 (7) 開設年月 昭和 60 年 5 月 (8) 施設内容 事務室、遊戯室、図書室、和室 (学童保育室と兼用) (9) 基盤設備 電気：東京電力、水道：佐倉市水道事業、下水：佐倉市下水道、ガス：都市ガス (13A)、電話：NTT 東日本、その他：ケーブルテレビ 各学童 臼井老幼の館学童保育所 (1) 名 称 佐倉市立臼井老幼の館学童保育所 (2) 所在地 〒285-0837 佐倉市王子台 6 丁目 25 番 1 号 (臼井老幼の館内) (3) 施設構造 鉄骨造、地上 1 階建 (4) 敷地面積 2,563 m ² (臼井老幼の館) (5) 延床面積 322 m ² (学童保育部分 37 m ²) (6) 建築年月 昭和 60 年 3 月 (7) 開設年月 昭和 60 年 5 月 (8) 施設内容 和室 (学童保育室と兼用) (9) 基盤設備 電気：東京電力、水道：佐倉市水道事業、下水：佐倉市下水道、ガス：都市ガス (13A)、電話：NTT 東日本、その他：ケーブルテレビ (10) 定員：35 名 (11) 対象学年 1 年生～4 年生 千代田学童保育所 (1) 名 称 佐倉市立千代田学童保育所 (2) 所在地 〒285-0834 佐倉市吉見 553 番地 (千代田小学校内) (3) 施設構造 鉄骨造、地上 2 階建

- (4) 敷地面積 32,981 m²
- (5) 延床面積 503 m² (学童保育部分 134 m²)
- (6) 建築年月 平成6年3月
- (7) 開設年月 平成20年10月
- (8) 施設内容 学童保育室 (2部屋)
- (9) 基盤設備
電気：東京電力、水道：佐倉市水道事業、下水：佐倉市下水道、ガス：液化天然ガス、電話：NTT 東日本、その他：ケーブルテレビ
- (10) 定員：65名
- (11) 対象学年 1年生～6年生

印南学童保育所

- (1) 名称 佐倉市立印南学童保育所
- (2) 所在地 〒285-0822 佐倉市印南 223 番地 1 (印南小学校内)
- (3) 施設構造 木造、地上2階建
- (4) 敷地面積 20,718 m²
- (5) 延床面積 1,073 m² (学童保育部分 174 m²)
- (6) 建築年月 昭和56年3月
- (7) 開設年月 平成15年12月
- (8) 施設内容 学童保育室 (2部屋)
- (9) 基盤設備
電気：東京電力、水道：佐倉市水道事業、下水：佐倉市下水道、ガス：液化天然ガス、電話：NTT 東日本、その他：ケーブルテレビ
- (10) 定員：70名
- (11) 対象学年 1年生～6年生

王子台学童保育所

- (1) 名称 佐倉市立王子台学童保育所
- (2) 所在地 〒285-0837 佐倉市王子台 5丁目 19番 (王子台小学校内)
- (3) 施設構造 鉄筋コンクリート造、地上3階建
- (4) 敷地面積 20,011 m²
- (5) 延床面積 1,700 m² (学童保育部分 65 m²)
- (6) 建築年月 昭和59年3月
- (7) 開設年月 平成24年10月
- (8) 施設内容 学童保育室 (1部屋)
- (9) 基盤設備
電気：東京電力、水道：佐倉市水道事業、下水：佐倉市下水道、ガス：液化天然ガス、電話：NTT 東日本、その他：ケーブルテレビ
- (10) 定員：30名

	(11) 対象学年 1年生～2年生
施設の 設置目的	<p>児童センターは、児童福祉法に規定された児童厚生施設であり、地域の児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置された施設である。</p> <p>学童保育所は、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了した放課後及び長期休業その他学校休業日、土曜日等において、家庭に代わる生活の場を提供し、適切な遊びや指導を通して、児童の健全育成を図るとともに、子育てと仕事の両立を支援することを目的とする。</p>
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
委託料	251,402,000円
市所管課	健康こども部子育て支援課
評価対象期間	平成26年4月1日～平成28年3月31日

1 項目別評価

評価	説明
S（優良）	要求される水準を上回り、特に良い成果が認められる。
A（適格）	要求される水準を満たしている。
B（概ね適格）	要求される水準を満たしているが、一部問題点が認められる。
C（不適格）	要求される水準を下回り、問題点が認められる。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

（１）【公の施設の平等利用等に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
基本事項	関係法令等を理解し、遵守したか。	A	A
	必要な資格免許が取得されていたか。	A	A
① 平等利用	全体の事業内容に偏りはなかったか。	A	A
	特定の個人や団体が優遇されることはなかったか。	A	A
② 公共性	公の施設を運営するにふさわしい理念により運営していたか。	A	A
	現状分析・課題認識は適切であったか。	A	A
	公の施設の設置目的や市の施策を理解した事業内容であったか。	A	A
	管理運営における環境への配慮は十分であったか。	S	A
	利用者の要望や意見を把握し、的確に対応したか。	S	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・災害救援ベンダー（災害停電時飲料提供型自動販売機）の設置 ・児童センター内のLED照明への切替 			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>法令順守・市民の平等利用に配慮した施設運営を行い、乳幼児から高齢者までが利用する公の施設として、施設内外の環境整備を徹底しました。また、利用者アンケートの結果から利用者の要望や意見を施設運営に活かして利用者サービスの向上に努めております。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>利用者からの要望や意見については、毎年実施している利用者アンケートの結果だけではなく、日頃から利用者の声に傾聴し、運営改善に努めています。その結果が、来館者数の増加に繋がっているものと考えます。</p> <p>また、住宅地に立地していることから敷地内の美化にも注力しており、周辺への配慮がなされています。</p>			

(2) 【公の施設の効用発揮・経費縮減に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 効用発揮	施設の特徴を活かし、施設の価値を高めることができたか。	A	A
	サービスの質の向上のための取り組みは効果的であったか。	A	A
	利用拡大の方策は効果的であったか。	S	A
	施設の情報発信は工夫されていたか。	A	A
	企画事業・独自事業の実施方針や内容は適当であったか。	A	A
② 経費縮減	収支計画にのっとり、安定して経営できたか。	A	A
	運営の効率化が効果的になされたか。	A	A
	予定外の収入減・経費増への対応は的確であったか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所におけるおやつを提供 ・学童保育所におけるお弁当を提供 ・児童センターにおける新規事業（つぼみちゃん・ラジオ体操・Sunday ぽっぽ）の実施 <p>児童センター利用者数</p> <p>平成 25 年度 13,046 人（直営）</p> <p>平成 26 年度 17,345 人（対前年比 132.9%）</p> <p>平成 27 年度 17,918 人（対前年比 103.3%）</p>			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>学童保育所において、利用者からの要望が多かったおやつ・お弁当の提供を順次実施することができたが、内容・注文等について満足いくものではなく、定着を目指して検討を重ねています。</p> <p>児童センターにおいては、平成 26 年度に開始した、近隣の住民を対象にした日々の「ラジオ体操」、幼児向けの 1 歳児を対象にした「つぼみちゃん」、平成 27 年度に開始した「Sunday ぽっぽ」が好評であり、地域の方の交流・幼児親子の利用拡大、今までに利用の少なかった年齢層の利用者獲得に繋がったと考えます。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>学童保育所における昼食やおやつを提供について、指定管理導入時に提案している事業者の中で一番先に導入に向けて着手し、実施しました。他エリアの指定管理者に対しても導入に向けてのアドバイス等を行い、担当エリアだけではなく、佐倉市全体での保育サービス向上へ尽力頂きました。今後も利用者のニーズを把握しながら提供内容を工夫して頂きたいと思えます。</p> <p>児童センターにおいては、乳幼児親子向けの事業の充実を図り、来館者の増に繋げることが出来ました。日曜日に「Sunday ぽっぽ」を実施するようになったことで、新たな利用者を掘り起こしています。月 1 回の月曜開館を周知するなど、更なる利用拡大を図ってください。</p>			

(3) 【公の施設の管理運営の安定性に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 物的能力	団体の経営が安定していて、施設管理を継続的・安定的に行うことができたか。	A	A
	施設の維持管理、備品の管理は適切に行われたか。	S	A
	安全管理・危機管理への取り組みは適当であったか。	A	A
	個人情報の保護、情報公開に対し十分配慮し、必要な措置を講じたか。	A	A
	第三者への委託や運営協力体制は適当であったか。	S	A
② 人的能力	団体本部との役割分担や責任体制は明確かつ適当であったか。	A	A
	適切な人員配置・勤務体制がとられていたか。	A	A
	人件費や労働条件の設定において、職員への配慮はなされていたか。	S	A
	職員の教育研修体制は適当であったか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品・消耗品等のグリーン購入法適合商品購入の徹底 ・ 自然災害等に伴う学童保育所開所について、各学校との連携を確認 ・ 避難訓練の実施 ・ 職員ベースアップの実施 			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>利用者が快適に利用できるよう、施設の修繕や備品の入替を随時行い、安全な施設の維持管理を行っています。</p> <p>人員の配置については、各現場の責任者との入念な打ち合わせの上、適切な人員の確保に努めました。また、それにより当初計画よりも剰余金が発生しており、各職員のベースアップという形での還元を実施しました。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>修繕対応及び備品購入等について迅速に対応していただき、利用者の安全や使いやすさを考えた施設運営を行っていただいていると考えます。</p> <p>運営の合理化により発生した剰余金により、職員給与のベースアップを実施し、労働条件の向上にも努めており、利用者だけではなく、職員への配慮もなされています。</p> <p>今後も安定した施設経営を継続して頂くことを期待します。</p>			

(4) 【公の施設の設置目的の達成に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 事業内容	【児童センター】 児童の成長過程に合わせた多様な事業内容が提案されているか。	A	A
② 配慮を要する児童への対応	【学童保育所】 配慮を要する児童(障害を有する児童等)への対応方針が適当であるか。 (職員配置、研修体制等)	A	A
③ 保育環境の向上	【学童保育所】 学童保育所の保育内容を向上させ、保護者との信頼関係を構築する提案がされているか。	A	A
具体的な取り組みの状況・実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢毎に親子教室を開催 いちごちゃん(0才)・つぼみちゃん(1才)・こあらちゃん(2才6か月～就学前) ・配慮を要する児童については、指導員の加配を実施 ・「スポーツ鬼ごっこ」の取り組み 			
評価の理由及び今後の課題(指定管理者)			
<p>児童センターにおける親子教室では多くの申し込みをいただき、母親同士のコミュニティの形成、また子育て相談の場を設けることで、非常に好評をいただいております。</p> <p>学童保育所においては、各学童毎に「スポーツ鬼ごっこ」を外遊びのプログラムとして、指導員への研修を実施し、「スポーツ鬼ごっこ」を通して、学童の体力づくり・コミュニケーション力の向上・想像力の向上を図っております。</p>			
評価の理由及び今後の課題(市)			
<p>児童センター事業については、月齢別に新たな事業を開催するなど、利用者のニーズを捉えた事業運営を実施していただいていることにより、来館者数も増加しております。</p> <p>学童保育所においても、共通の遊びのプログラムを提唱することにより、指導員への研修等も合理的に実施できると共に、児童についても近隣学童保育所で共通の遊びを体験できることで、今後の運営に様々な選択肢が生まれてくるものと考えます。</p>			

(5)【その他取り組み（参考）】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
参考項目	障害者、高齢者の雇用や男女平等参画に対する配慮がなされたか。	A	A
	市民との協働による管理運営が行われたか。	A	A
	地域の活性化につながる取り組みがなされたか。	A	A
	地域雇用が行われたか。	A	A
	収益（剰余金）が有益に利用されたか。	A	S
具体的な取り組みの状況・実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会への地区社協・町内会・近隣の施設利用者・小学校 校長の参加 ・「老幼まつり」の実施 ・王子台地区社協主催の「地域交流会」の実施 			
評価の理由及び今後の課題（指定管理者）			
<p>雇用については、施設管理において佐倉市シルバー人材センターを活用しており、直接雇用だけでなく、高齢者の就業の機会を設けております。</p> <p>「老幼まつり」・「地域交流会」では、運営委員会の皆様方と協力し、地域の活性化に向けたイベントの計画を行い、実施にあたっては多くのボランティアの方に参加いただいております。</p>			
評価の理由及び今後の課題（市）			
<p>業務基準の達成に加えて、施設運営の中で発生した収益を施設の修繕や備品購入として還元するほか、職員給与のベースアップに充てるなど、とても有益に利用されています。今後の指定期間も順調な運営を続けて頂きたいと考えます。</p>			

2 総合評価及び今後の課題

[意見記述欄] 総合評価及び今後の課題	
指定管理者	<p>指定管理初年度から、大きな変化で利用者・転籍した職員を戸惑わせることのないように配慮し、一つ一つの課題をクリアしながら運営を行いました。</p> <p>利用者数・収支状況については順調に推移しており、常に新しい取り組み・遊具や設備の充実を図っていくことが必要になると考えております。</p> <p>学童保育所については、学童保育所の増設・利用者増に向けて指導員の確保が今後の課題であり、職員体制の充実を図ります。</p>
市	<p>大幅な運営内容の変更等により、利用者や継続勤務の職員に混乱を与えることなく、改善されてきていると思います。</p> <p>様々なアイデアやノウハウにより得られた利益については、利用者や職員、まつり等において周辺住民の方にまで還元されており、今後も、地域に根差した運営を行っていただくことを期待します。</p>